

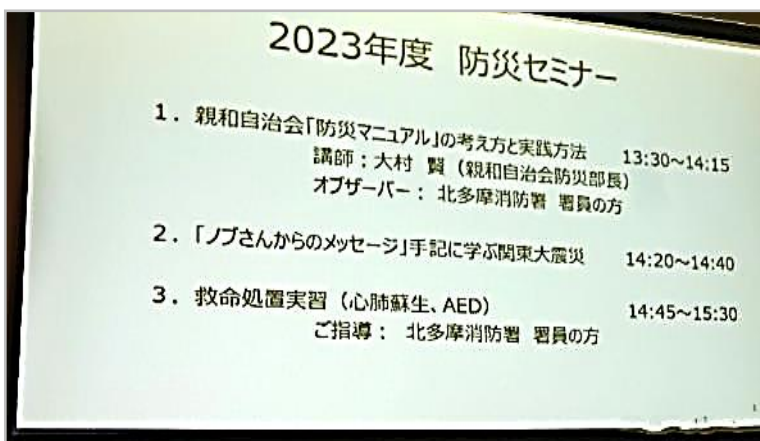
◎親和自治会 防災セミナー

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

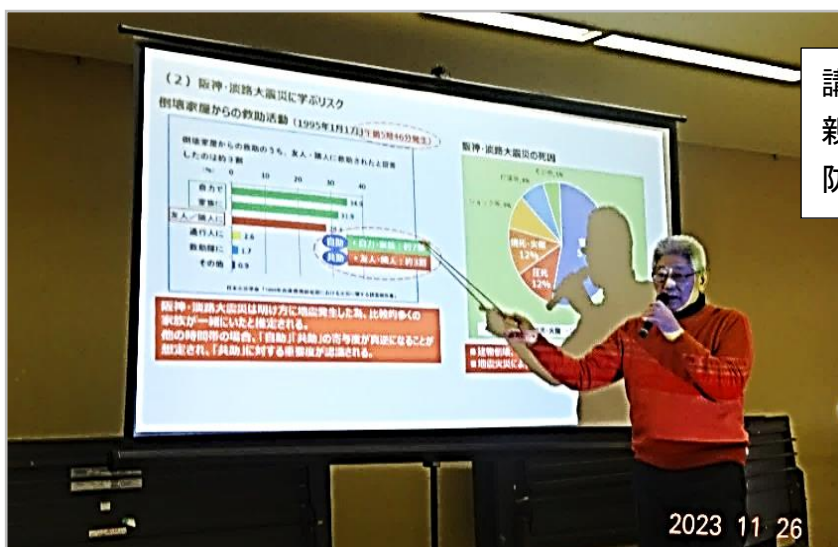
2023年11月26日

親和自治会では2020年度に防災組織を発足し、実体験としての「防災訓練」と、防災の考え方、基本知識を体得する為の「防災セミナー」の2本柱で、防災活動を進めています。

今年度(2023年度)の「防災セミナー」は、昨年全世帯に配布された改訂の「防災マニュアル」の、ポイントの説明と理解・認識を深めることを目的に実施されました。合わせて北多摩西部消防署様による、関東大震災の動画上映や、「心肺蘇生」「AED」の実習がなされました。地震・火災・水害の防災知識として多くを学ばせて頂きました。ここに参加報告をさせていただきます。



1. 親和自治会「防災マニュアル」の考え方と実践方法(13:30~14:20)



講師：
親和自治会会長・
防災部長 様

親和自治会「防災マニュアル」の 考え方と実践方法

以下
「防災マニュアル」
からの抜粋。

- I. 親和自治会地区の特徴と自主防災活動の歴史
- II. 南街1丁目の災害リスク
- III. 自主防災活動の目指す姿
- IV. 「自助」活動について
- V. 「共助」活動（自治会ボランティア活動）について
- VI. 防災関連活動の基本構成
- VII. おわりに

[参考] 日常の防災意識向上と被災時の迅速な情報共有ツール

2023年11月26日
親和自治会

III. 親和自治会の自主防災活動として目指す姿

<災害の検討対象>

- | | |
|---|--|
| ①災害の種類を以下3つに絞る
・地震
・2次災害としての火事
・水害 | ②自主防災活動の対象期間
・被災前（水害の場合）
・被災後72時間以内（被災直後）
・被災後72時間以降（被災生活～復旧） |
|---|--|

<何をどこまでやるか>

- 主な実施項目 **在宅避難を前提とする**
「自助」活動：

各家庭が行動ガイドを参考に、在宅避難生活に備える。

- 目標[1] 火を出さない
- 目標[2] 家具などの転倒などで怪我をしない
- 目標[3] 食料などを準備しておく（日常備蓄）
- 目標[4] 家の倒壊を防ぐ
- 目標[5] 近所の人とのコミュニケーションをとっておく
- 目標[6] トイレの備え
- 目標[7] 水害への備え

「共助」活動：

- [共助-①] 目に見える「街頭消火器」⇒ 日常の防災意識高揚
- [共助-②] 水害警戒レベル3以上時の「要支援者」への支援活動
- [共助-③] 被災後72時間以内を想定した「要支援者」に対する自治会内の組織的救助・救援の仕組みを作る。
- [共助-④] 被災後72時間以降在宅避難が長期化する場合の、自治会・地域全体に対する情報と物資の支援の仕組みを作る。

- 「自助」により個々の被害が防止されることで、地域全体の被害の総量も減少する = 減災
- 「自助」で無事だった住民は、被災した地域の住民を助ける力になる = 地域の防災力；「共助」の強化

18

自助
共助

VII. おわりに

- 「防災活動」は何をどこまでやれば良いのか際限がありません。
- 特に火災などの2次災害を想定すると、自身の自治会だけでは正に片手落ちで、地域全体で考えるべきと思い知るに至っています。
- しかし、この問題の難しさは、地域には、自治会の会員の方、会員で無い方、そもそも自治会が無い地域にお住いの方など、多様な住民構成ですので、近隣の自治会同士の連携という単純な構図ではなく、自治会、行政、社会福祉協議会、第2層協議会などなど、多様な組織・団体との連携が必要なところです。これらの密接な連携は、現実的には非常に難しく、出来る事は限られていると思われませんが、最低限やるべきこと（≡出来る事）に絞って今後検討が必要になると思います。
- （例えば、アパートなど比較的狭い住居など、在宅避難用の日常備蓄に制約がある世帯も想定した対応、自治会単位の防災倉庫の備蓄量を地域を想定した備蓄量に増量？ など）

「もしも」は必ず起こる！！！！

40

おわりに

2. 「ノブさんからのメッセージ」手記に学ぶ関東大震災(14:30~14:50)



DVD 動画提供:
北多摩西部消防署様

関東大震災発生時の震度。



木密地帯ゆえの火災発生。
南街地区も他人ごとではありません。



火災旋風発生。

関東大震災の犠牲者
10万5千人の内、
9割が火災によります。
特に陸軍被服廠跡では、
4万人が犠牲となりました。



災害時には、被災者は救済者にもなりえます。

3. 救命措置実習(心肺蘇生、AED)(14:50~15:30)



ご指導：
北多摩西部消防署 様



回覧

親和自治会会員の皆様

自治会以外の皆様

2023年10月15日

親和自治会 会長 大村 賢

「防災セミナー」のお知らせ

やっと暑さも落ち着いてきました。お元気にお過ごしでしょうか？

本年度も「防災セミナー」を開催します。

昨年度は、親和自治会地区に特化した身近なリスクの大きさと対処方法について、東村山在住の危機管理士 袁田さんの講義を受け、そこで学んだ多くの内容を基に大幅に改訂した親和自治会「防災マニュアル」を6月、会員全世帯に配布しました。

この最新の「防災マニュアル」の内容を理解頂いているとは思いますが、大変重要な考え方と実践方法ですので、本年度の「防災セミナー」では、このポイント説明をし、共通の理解・認識を深めて頂きたいと考えました。また、救命処置として「心肺蘇生」「AED」の実習も合わせて実施します。

尚、「自助」の行動ガイドとして『日常備蓄』を推奨していますが、日頃見直す機会も少ないと思われるので、今回のセミナーの期日までに各ご家庭で点検して頂ければと思います。

「日常備蓄リスト（参考例）」を添付します。（各世帯1部ずつお取りください）

出来ましたら点検結果、及び各世帯でお持ちの「防災マニュアル」（6月配布）をご持参ください。

会場準備の為、参加ご希望の方は、添付「申込み表」にお名前をご記入ください。

自治会会員以外の方も参加できますので、ご友人などお誘い合わせの上お越しください。

また、ご都合により参加申し込みをされなかった場合も、当日直接参加頂けますので、お気軽にお出かけください。

記

1. 日時： 11月26日（日） 13:30～15:30（受付：13:10～）
 2. 場所： 向原市民センター 集会室1 & 2
 3. プログラム：
 - (1) 親和自治会「防災マニュアル」の考え方と実践方法 13:30～14:20
 - ①「防災マニュアル」のポイント説明
 - ②『日常備蓄』点検結果等に基づく質疑
講師：大村 賢（親和自治会防災部長）
オブザーバー： 北多摩消防署 今平様
 - (2) 救命処置実習（心肺蘇生、AED） 14:30～15:30
ご指導： 北多摩消防署（3名様）
- (※) 実習ですので、軽装でご参加ください。必要であれば飲料もご持参ください。

以上

以上